



## 下水道展'24東京に出展

(併催行事：  
セミナー、出展者プレゼンテーション、下水道研究発表会)

### ○下水道展への出展

本機構は、令和6年7月30日（火）～8月2日（金）までの4日間、東京ビッグサイト（小間番号1-633）で出展いたします。このブースでは、「下水道機能の持続性確保」、「災害リスクへの対応力の向上」、「新たな価値の創造」の3つを柱とした展示コーナー設置し、下水道事業の課題解決に資する様々な調査研究等を分かりやすくパネルにして展示します。具体的には、「共同研究による下水道BCP策定支援・訓練支援」、「アセットマネジメントの実践に向けた次世代型マンホール蓋技術に関する共同研究」、「下水道由来肥料の利活用マニュアル」、「下水処理場における省エネ型送風機の導入促進に関する共同研究」など、課題解決や業務の推進に役立つ研究成果や好事例などの情報を提供します。



下水道機構出展ブースイメージ

### ○セミナー／下水道分野におけるAI技術の活用

7月31日（水）の13：30から、TFT（東京ファッションタウン）ビル研修室905において、下水道機構の新技术セミナー「下水道分野におけるAI技術の活用」をZoomウェビナー併用で主催します。このセミナーでは、神奈川大学教授の山口高平氏に基調講演としてAI技術の歴史やインフラ分野での研究事例等をご講演いただくとともに、国土交通省上下水道審議官グループで施策立案に携わっている方も講師としてお招きし、AI技術の活用に関する今後の下水道施策等についてご講演いただく予定です。また、東京都や町田市の事例に加え、本機構での取り組みも紹介いたします。

## ○下水道研究発表会での成果発表

今年も下水道研究発表会に参加し、口頭発表部門20件、ポスター発表部門2件の合計22件について、最新の研究成果等を発表します。多くのデータに基づく研究成果の発表を行いますので、公共団体や民間企業の方々の今後の業務展開に参考になるのではないかと思います。

### 第61回下水道研究発表会 発表者一覧

口頭発表部門

発表方法：10分間の口頭発表と5分間の質疑応答

No.	時間	場所	所属	発表者	発表題目
7月30日（火）PM					
1	13:00～15:10	第3会場	研究第一部	古屋 勇治	大規模停電時における下水処理場の運用継続・機能維持に関する一考察
2	13:00～15:10	第3会場	研究第一部	河野 佑太	下水道事業におけるディマンド・レスポンスの活用について
3	15:20～17:15	第4会場	研究第一部	吉田 聡	A下水処理場における段階的処理導入に関する研究
4	15:20～17:15	第6会場	研究第一部	小和田 裕一	中大口径管の劣化調査及び調査技術の適用性検証
5	15:20～17:15	第6会場	研究第二部	遠藤 圭吾	管路詳細調査における展開図化式カメラの適用可能性検討
7月31日（水）AM					
6	10:00～11:55	第3会場	研究第一部	山本 晃裕	管渠の部分的な補修の考え方に関する共同研究
7	10:00～11:55	第6会場	研究第二部	廣兼 武	圧送管の調査方法に関する共同研究
8	10:00～11:55	第6会場	研究第二部	関谷 大河	下水道管きよの腐食メカニズム及び腐食対策に関する調査研究
9	10:00～12:10	第5会場	資源循環研究部	石田 健	下水処理場における汚泥焼却由来のN <sub>2</sub> O排出量削減技術に関する共同研究
7月31日（水）PM					
10	13:00～14:55	第6会場	研究第一部	荒生 靖大 (二木 有慈)	低コスト水位計を活用した不明水調査・分析手法に関する研究
11	13:00～15:10	第3会場	研究第二部	愛甲 秀行	管路管理の包括的委託の導入事例を踏まえた多様な官民連携方式の推進に関する研究
12	13:00～15:10	第5会場	資源循環研究部	宮本 浩哉	プラチナシステムを用いた脱炭素化技術の開発に関する共同研究
13	13:00～15:10	第5会場	資源循環研究部	郷野 梨夏	下水処理場における省エネ型送風機の導入効果について
14	13:00～15:10	第5会場	資源循環研究部	飯田 裕樹	下水道の脱炭素化や省エネルギー化に向けた効率的な運転管理等の実施支援
15	13:00～15:10	第5会場	資源循環研究部	堀 有一朗	下水道の脱炭素化・省エネルギー化に向けた効率的な運転管理手法等の検討結果
16	15:20～16:45	第3会場	研究第二部	高瀬 遼介	耐水型ポンプを用いた汚泥ポンプ設備の浸水対策の概要と段階的な対策手法について
17	15:20～17:15	第2会場	研究第一部	桂樹 正憲	熊本市における下水汚泥の有効利用に向けた調査研究
18	15:20～17:15	第6会場	研究第二部	市川 雅博	2024年版次世代型マンホール蓋の性能規定
19	15:20～17:15	第6会場	技術評価部	高見澤 光佑	マンホール更生工法の表面部材を強度部材とした場合の要求性能の課題について
8月1日（木）PM					
20	15:20～17:00	第2会場	研究第二部	中原 伸広 (近藤 浩毅)	蓄電池等を用いた樋門の電動化・遠隔化技術に関する研究

ポスター発表部門

No.	場所	所属	発表者	発表題目
7月31日（水）12:30～14:00				
1	13F 134	研究第一部	岩谷 文香	GISを活用した雨天時浸入水調査に関する蓄積データの整理と対策方針の検討
2	13F 134	技術評価部	渡辺 太郎 (武井 康太)	建設技術審査証明事業および審査証明の取得した技術の紹介

※（ ）内はプログラムに記載の発表者名

## ○出展者プレゼンテーション ～最新技術の紹介～

本機構では、審査証明技術の普及促進を目的として、審査証明事業の概要説明、令和4年度と令和5年度に審査証明を取得した技術（下表）を中心にプレゼンテーションを行います。各技術の紹介は、審査証明を取得した企業の方が直接分かりやすく解説いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

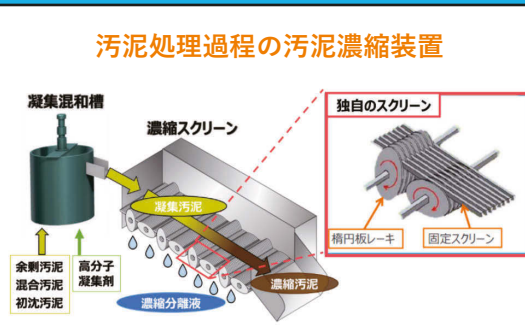
日 時：令和6年7月30日（火）14：20～16：05

会 場：東京ビッグサイト展示ホール内（東1ホール）

### 【プレゼンテーション技術】

#### 楕円板レーキ型ろ過濃縮機

汚泥処理過程の汚泥濃縮装置



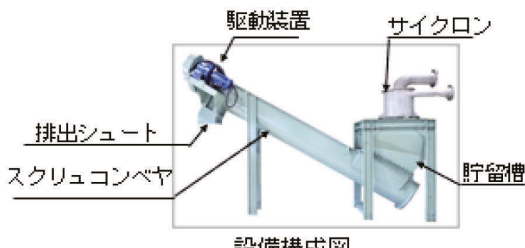
#### サンドクリーンII型

空気揚砂攪拌式  
沈砂洗浄装置



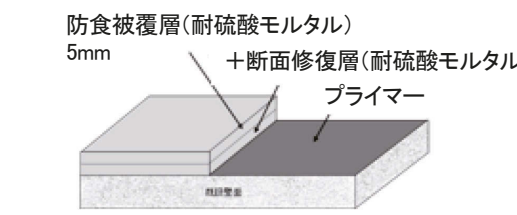
#### スパロウ

遠心分離式の沈砂分離機



#### エコロガードTM工法

防食被覆層形成のモルタルライニング工法



様々な最新技術の特長の紹介や審査証明についての解説を行います。  
ぜひ、お越しください！

表 プレゼンテーション技術 タイムテーブル（予定）

日時	No.	技術名称 (副題)	発表者所属会社
7月30日 (火) 14時20分 から 16時05分	—	建設技術審査証明事業の紹介（下水道技術）	公益財団法人日本下水道新技術機構
	1	楕円板レーキ型ろ過濃縮機	水ingエンジニアリング株式会社
	2	サンドクリーンII型	株式会社サンエイ
	3	スパロウ	アクアインテック株式会社
	4	エコロガードTM工法	株式会社メーシック